

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2024年4-6月期〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は269社から回答があった。景況判断DIは▲12となり、前期調査から6ポイント改善した。来期の見通しは▲17となり、5ポイント悪化する見込みとなっている。

経営上の問題点の回答割合は、「従業員の不足」が最も高く、次いで「修理、修繕費等の増加」、「人件費の増加」の順となっている。

以下、その他業況感DIの内訳

前期(2024年1-3月)に対して、

- ・売上高DIは▲7で、3ポイント改善
- ・処理量DIは▲9で、9ポイント改善
- ・営業利益DIは▲6で、5ポイント改善
- ・資金繰りDIは▲1で、1ポイント改善
- ・借入難易度DIは13で、4ポイント改善
- ・設備投資DIは5で、2ポイント改善
- ・従業員数DIは1で、8ポイント改善
- ・契約単価DIは、収集運搬が10で、2ポイント改善
処分が11で、6ポイント改善

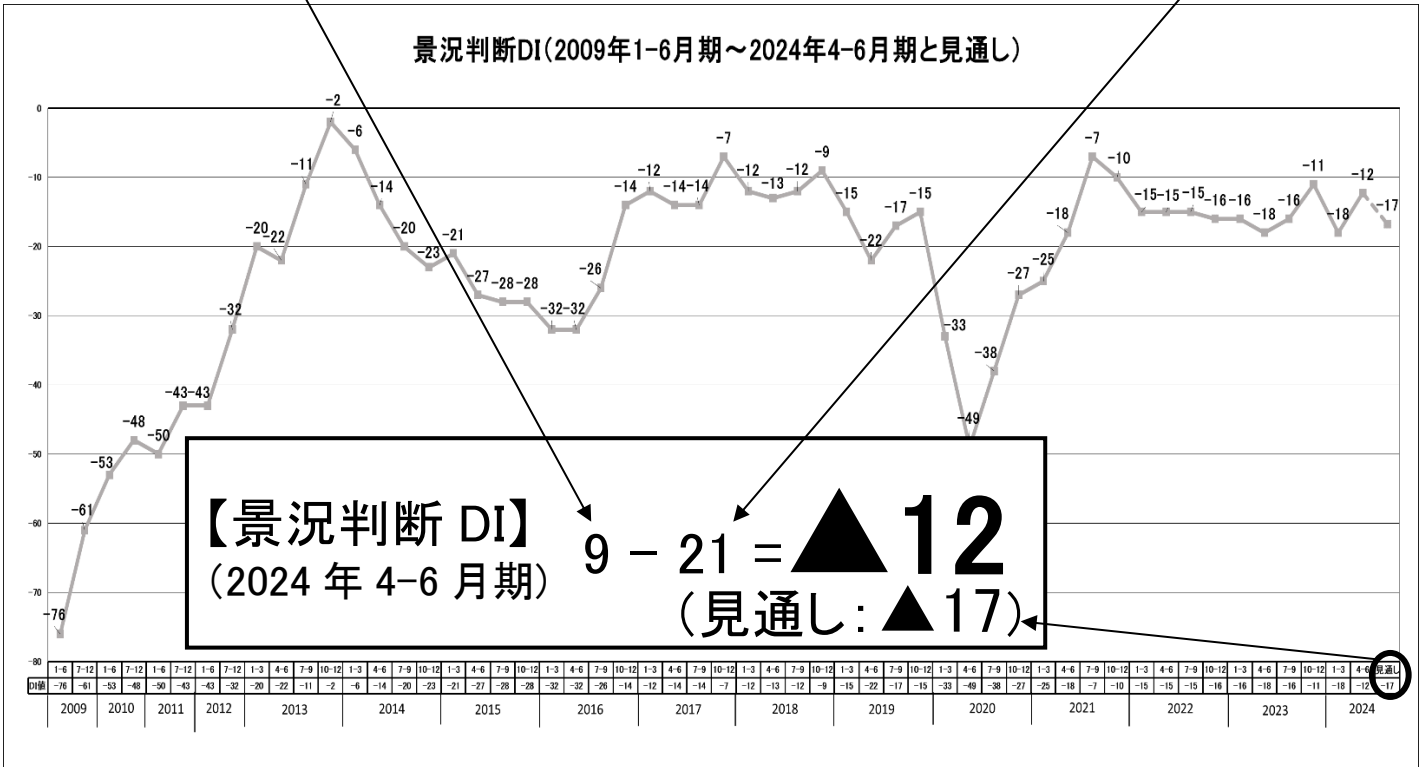
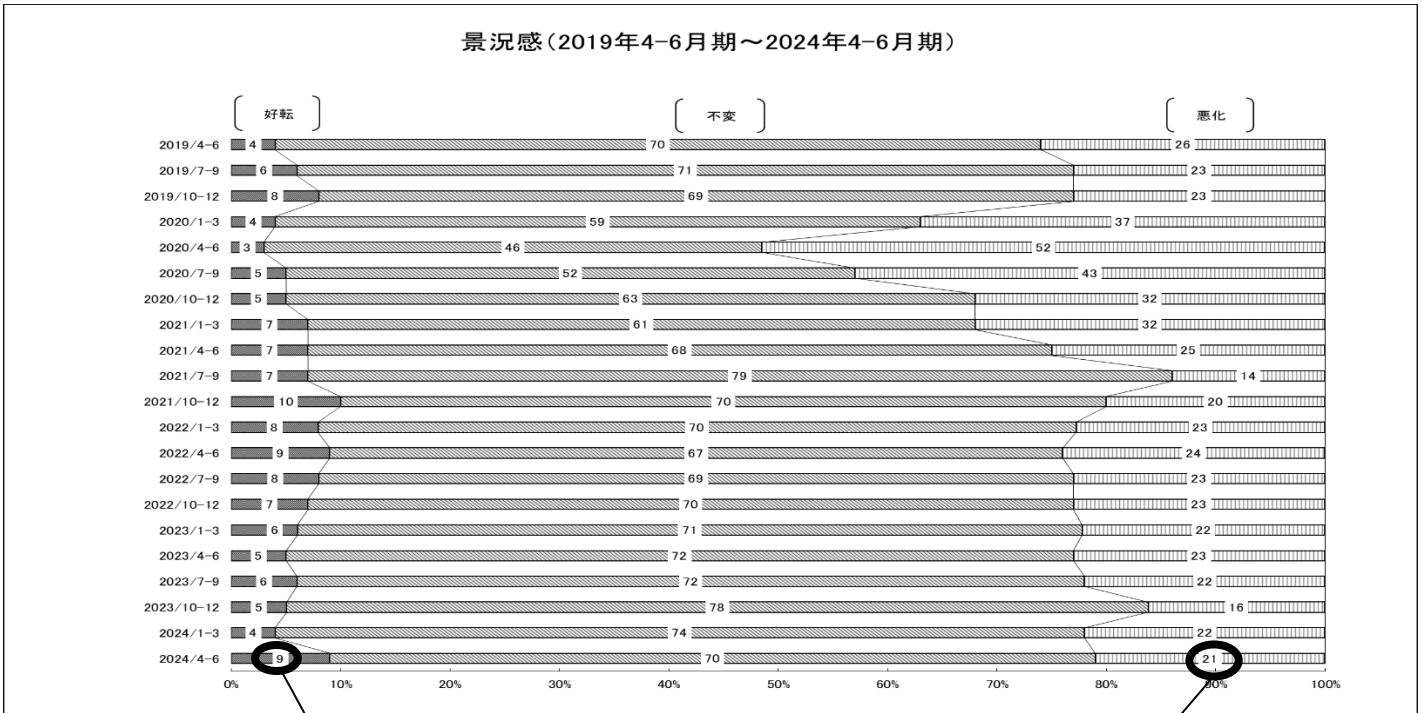
- 売上高の動向については、前年同期比で10.2%増となった。
- 処理量の動向については、前年同期比で3.9%増となった。
- 経常利益率については、前年同期比で0.6%減となった。

※DIとはディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で「好転」・「増加」したなどとする企業割合から「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

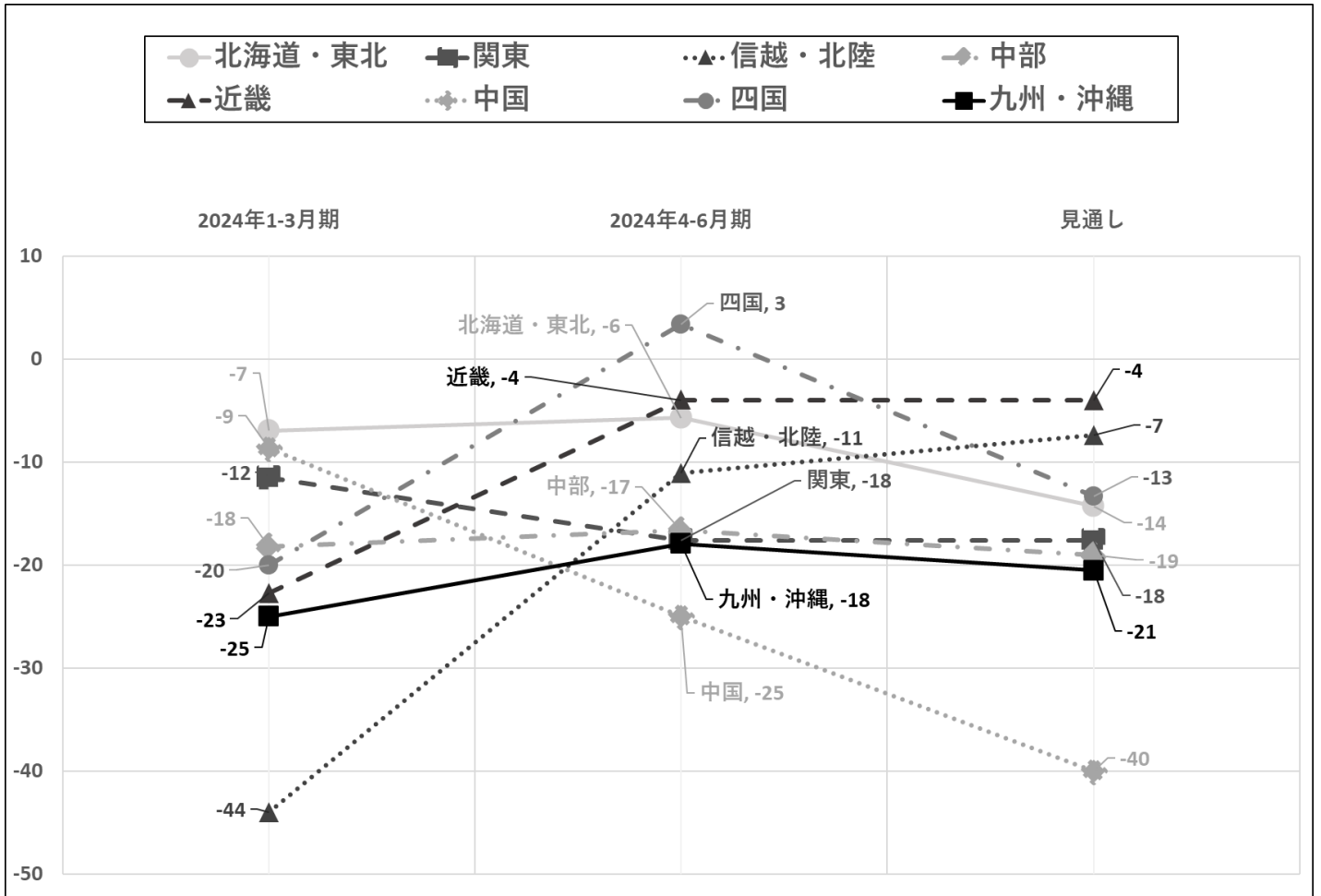
1. 景況感 DI(「好転」・「増加」-「悪化」・「減少」の企業割合)

(1) 景況判断 DI

- 景況判断 DI は▲12 となり、前期から 6 ポイント改善した。
見通しは▲17 となり、5 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 地域別の景況判断 DI をみると、「関東」、「中国」が悪化した。(3 ページ参照)
- 地域別の景況判断 DI 見通しをみると、「信越・北陸」のみが改善する見込みとなっている。
(3 ページ参照)



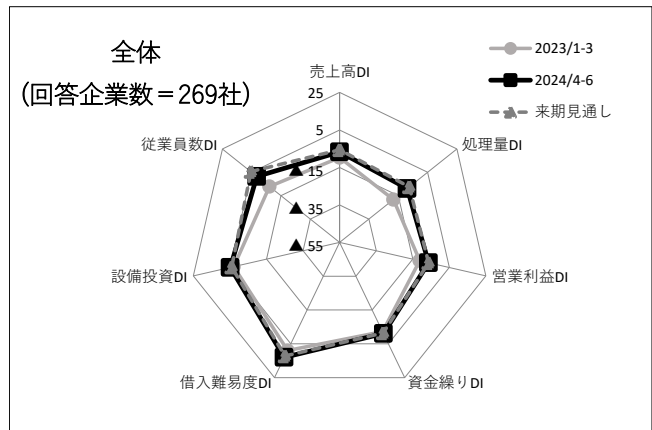
地域別景況判断 DI



	全体平均	北海道・東北	関東	信越・北陸	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄
2024年1-3月期	-20	-7	-12	-44	-18	-23	-9	-20	-25
2024年4-6月期	-12	-6	-18	-11	-17	-4	-25	3	-18
見通し	-17	-14	-18	-7	-19	-4	-40	-13	-21

(2) 売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI

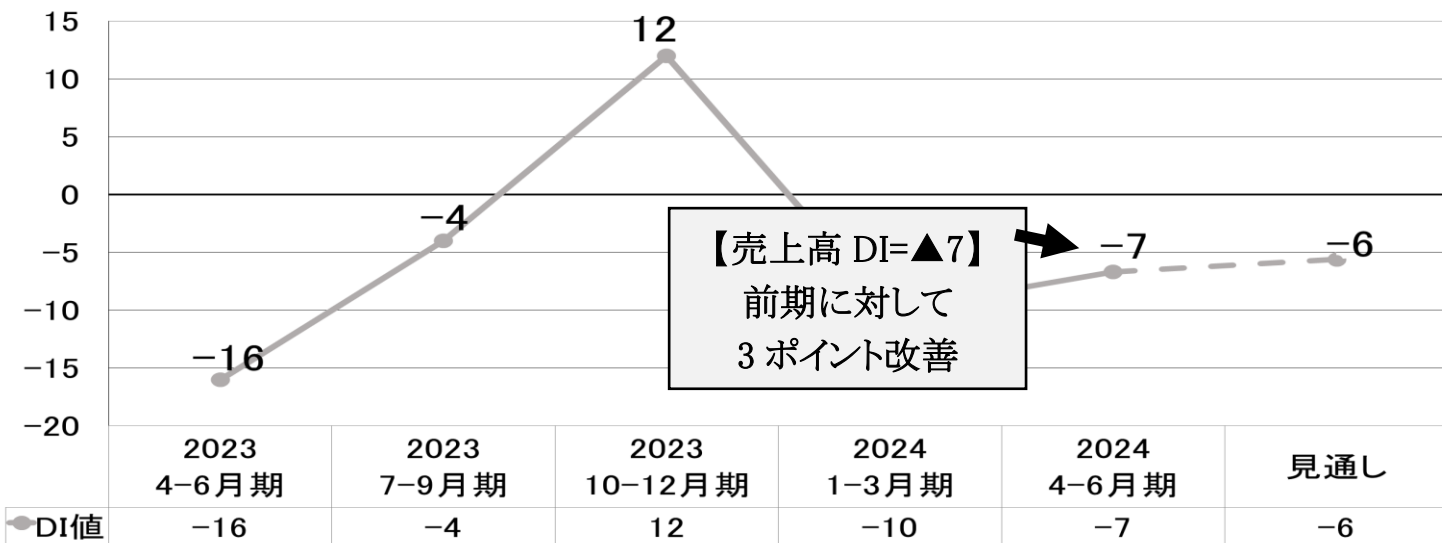
- 前期から全ての DI が改善した。
- 見通しは、借入難易度 DI、設備投資 DI が悪化する見込みとなっている。



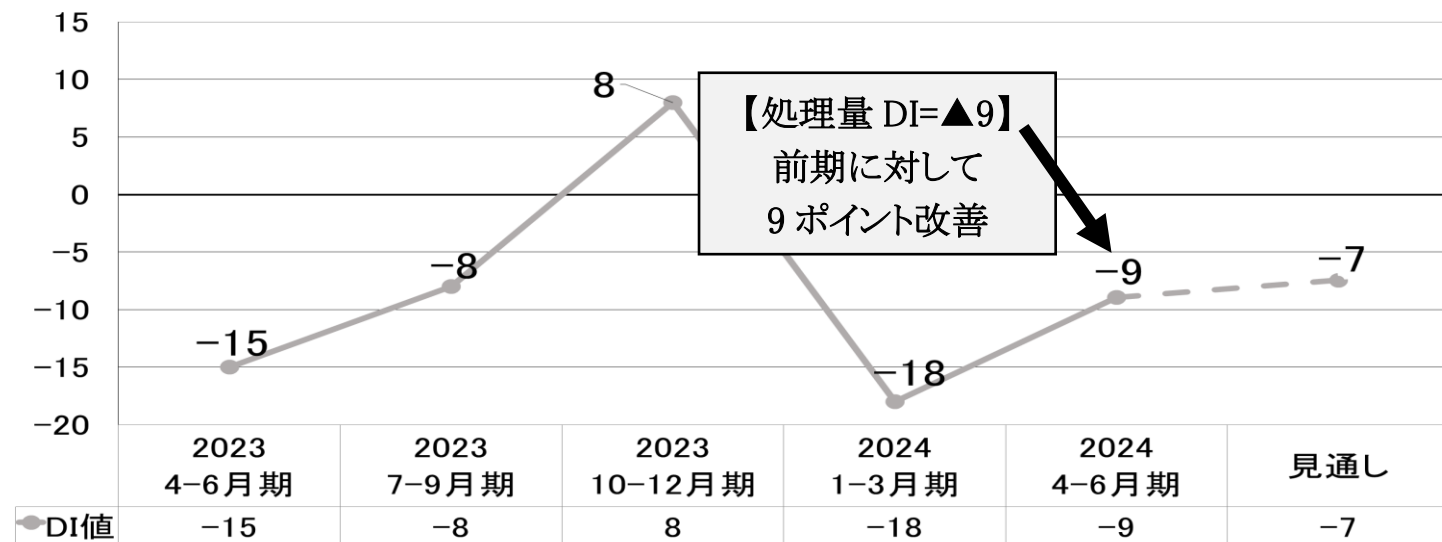
以下詳細(5~7ページ参照)

- ・売上高 DI は▲7 となり、前期と比べて 3 ポイント改善した。
見通しは▲6 となり、1 ポイント改善する見込み。
- ・処理量 DI は▲9 となり、前期と比べて 9 ポイント改善した。
見通しは▲7 となり、2 ポイント改善する見込み。
- ・営業利益 DI は▲6 となり、前期と比べて 5 ポイント改善した。
見通しは▲6 となり、同水準となる見込み。
- ・資金繰り DI は▲1 となり、前期と比べて 1 ポイント改善した。
見通しは▲1 となり、同水準となる見込み。
- ・借入難易度 DI は 13 となり、前期と比べて 4 ポイント改善した。
見通しは 12 となり、1 ポイント悪化する見込み。
- ・設備投資 DI は 5 となり、前期と比べて 2 ポイント改善した。
見通しは 4 となり、1 ポイント悪化する見込み。
- ・従業員数 DI は 1 となり、前期と比べて 8 ポイント改善した。
見通しは 6 となり、5 ポイント改善する見込み。

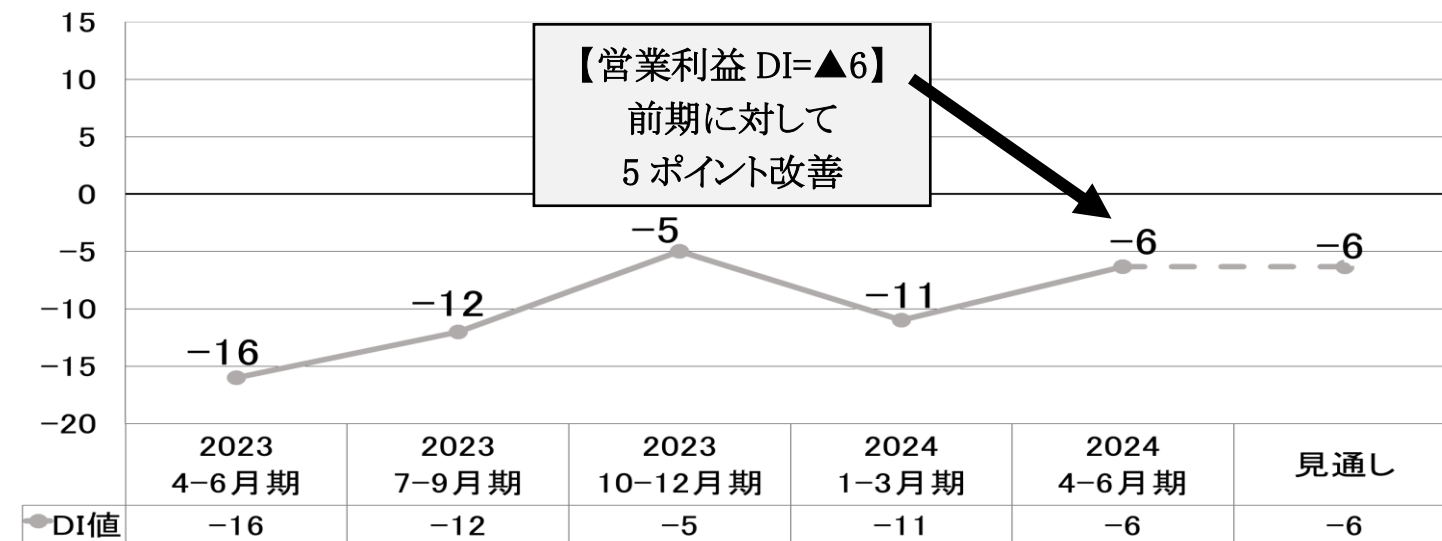
売上高DI (2023年4-6月期～2024年4-6月期と見通し)



処理量DI (2023年4-6月期～2024年4-6月期と見通し)

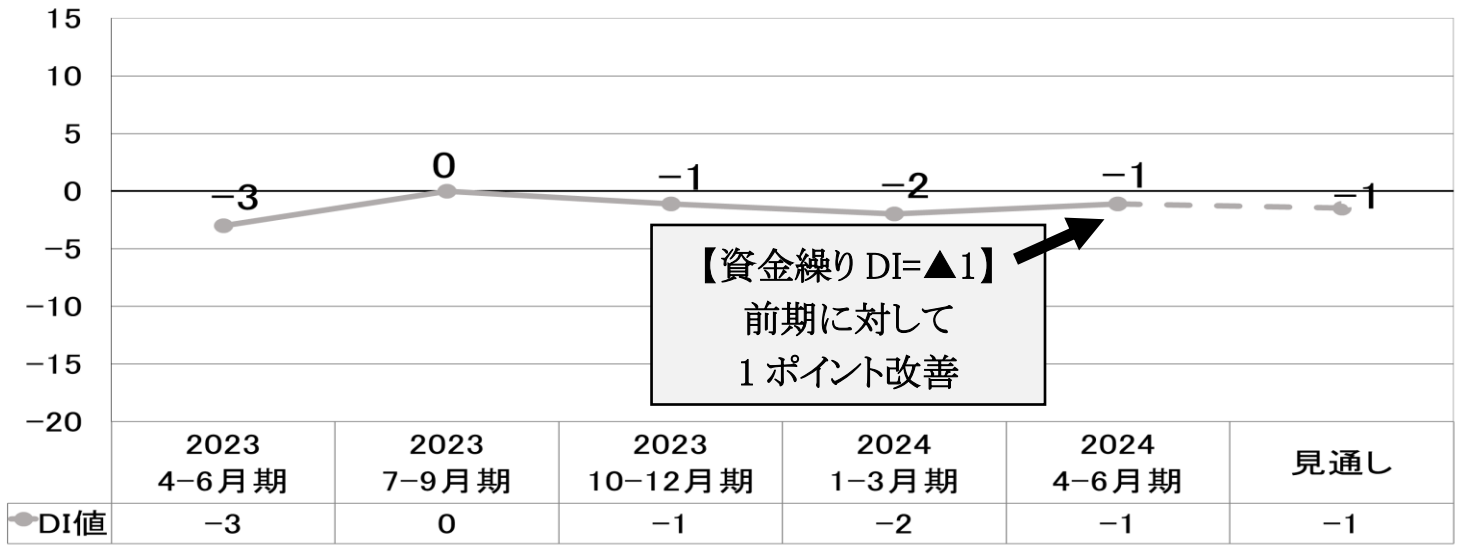


営業利益DI (2023年4-6月期～2024年4-6月期と見通し)



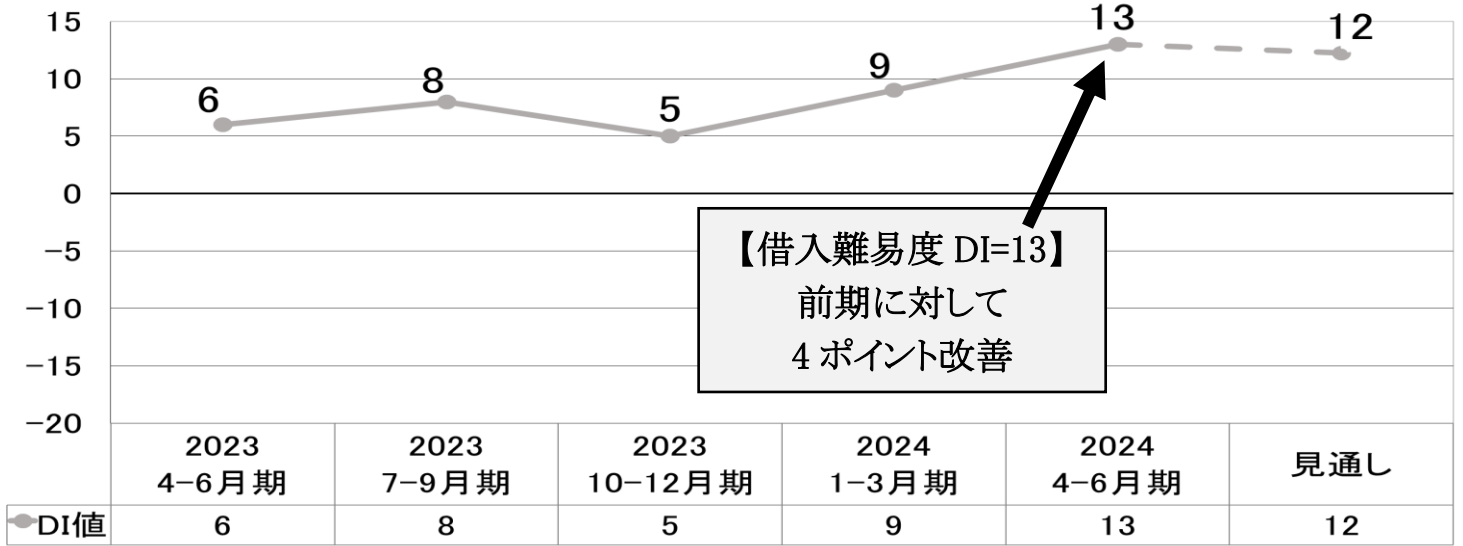
資金繰りDI

(2023年4-6月期～2024年4-6月期と見通し)



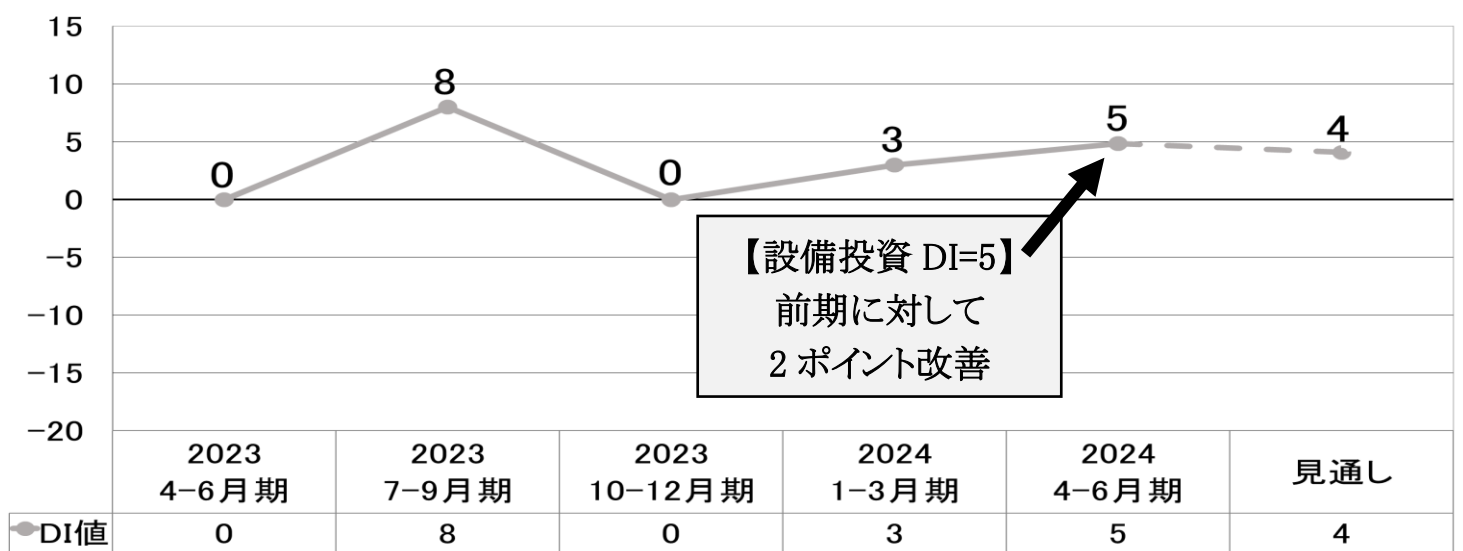
借入難易度DI

(2023年4-6月期～2024年4-6月期と見通し)



設備投資DI

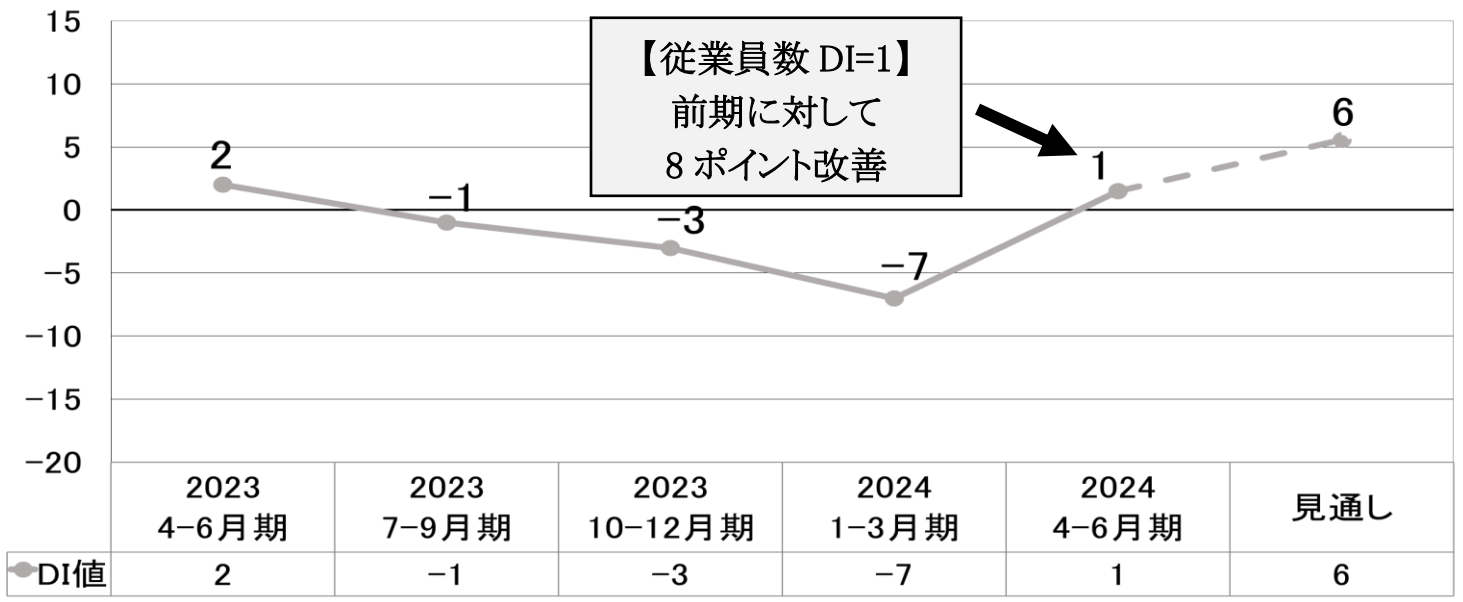
(2023年4-6月期～2024年4-6月期と見通し)



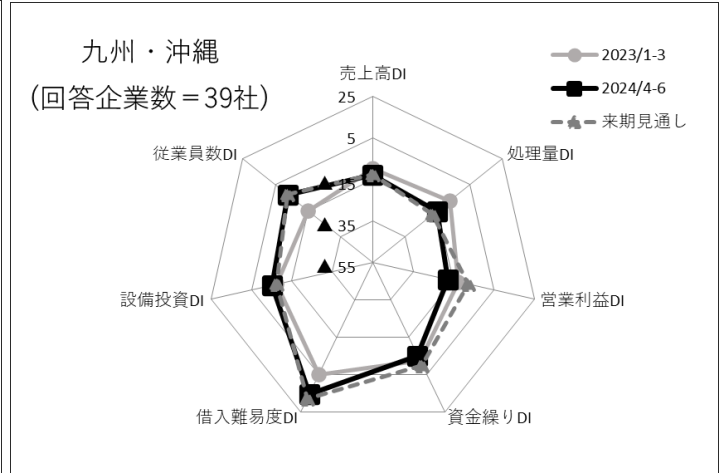
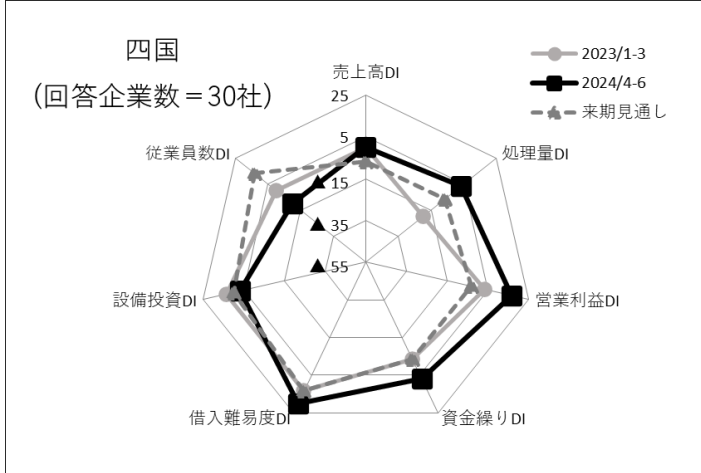
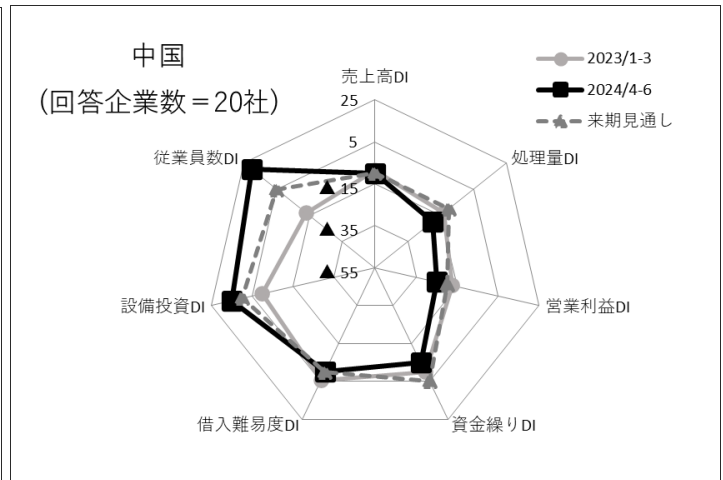
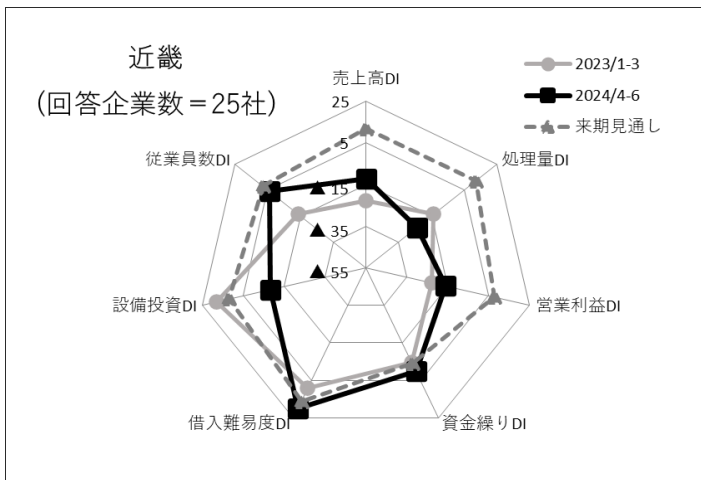
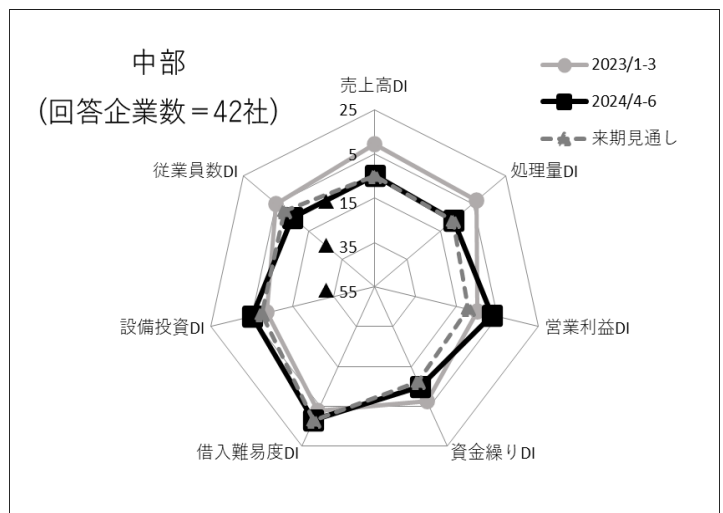
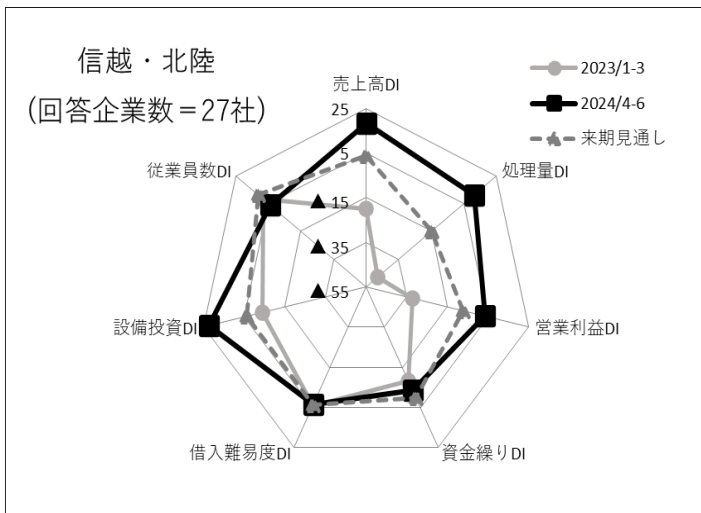
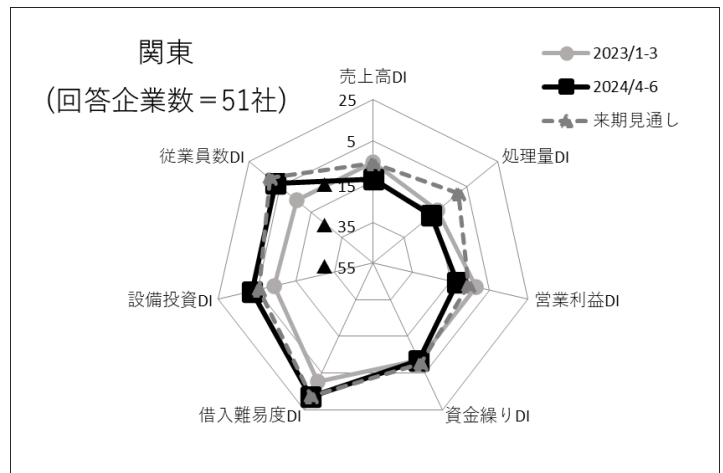
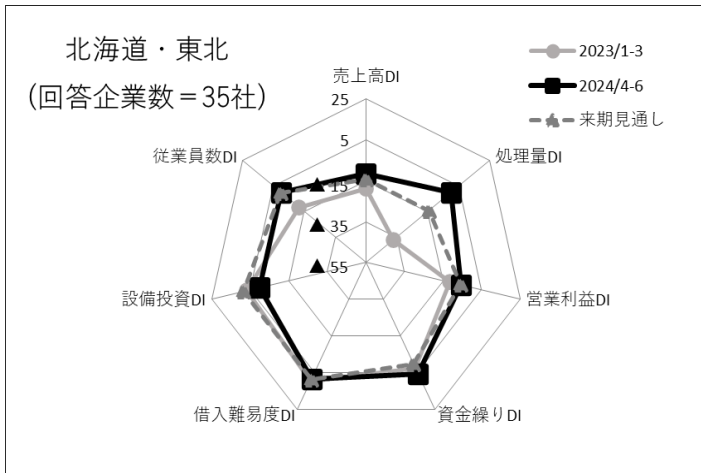
従業員数DI

(2023年4-6月期～2024年4-6月期と見通し)

【従業員数 DI=1】
前期に対して
8ポイント改善

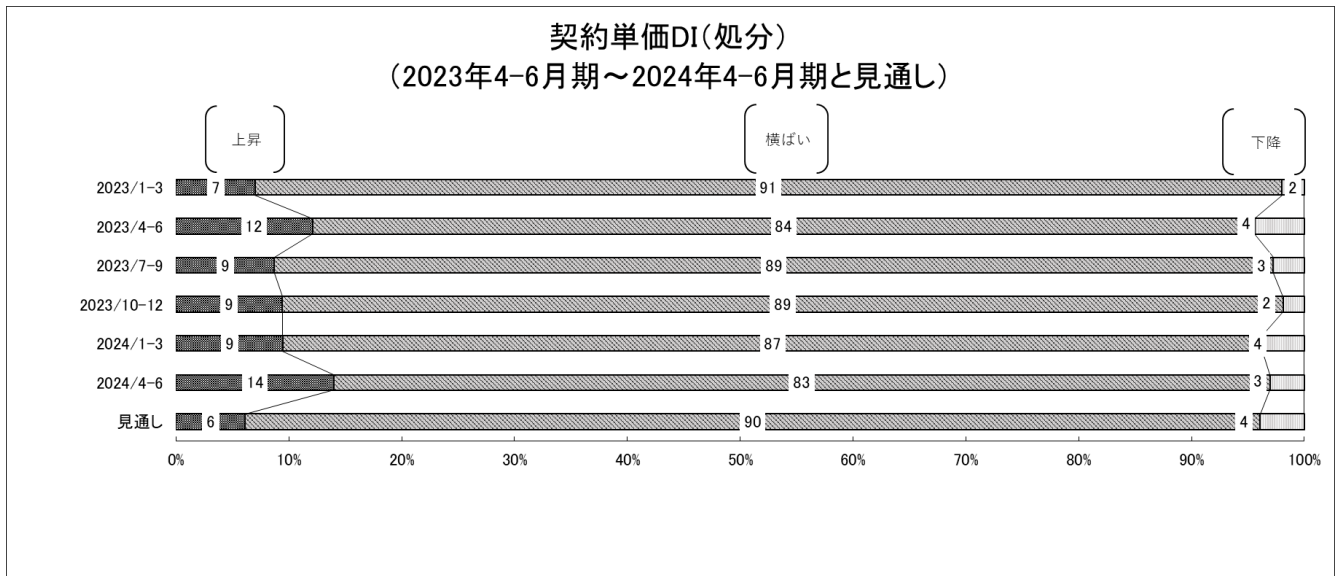
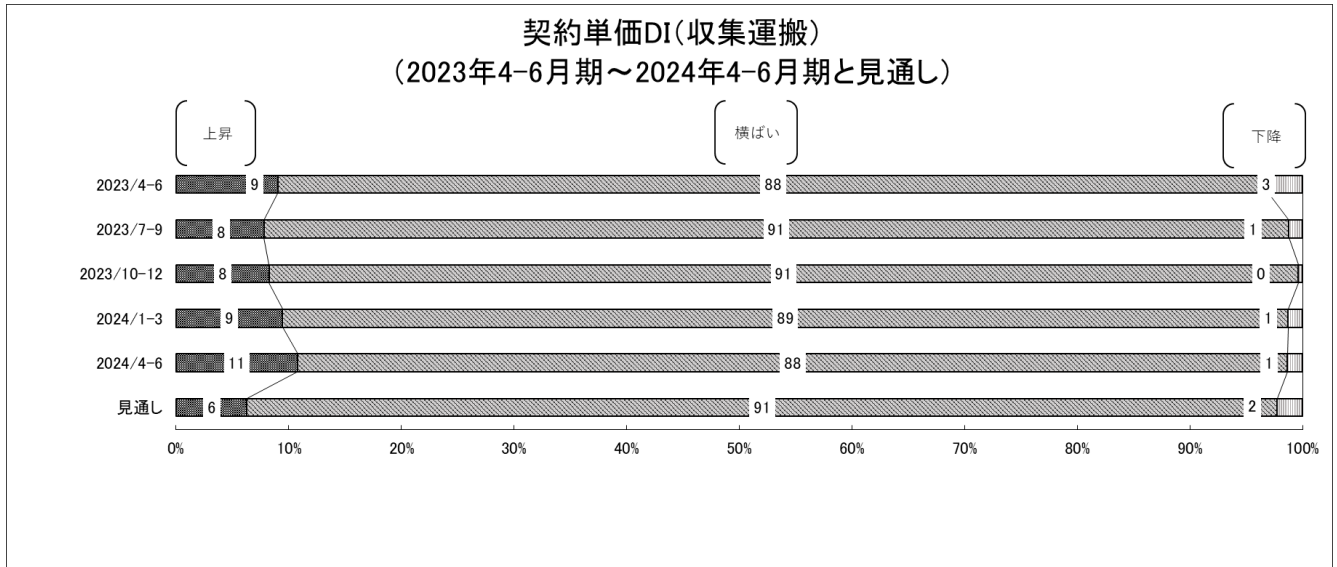


【売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI の地域別レーダーチャート】



(3) 契約単価 DI

- 収集運搬の契約単価 DI は 10 となり、前期と比べて 2 ポイント改善した。
見通しは 4 となり、6 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 処分の契約単価 DI は 11 となり、前期と比べて 6 ポイント改善した。
見通しは 2 となり、9 ポイント悪化する見込みとなっている。



2. 売上高の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、10.2%増となった。

有効回答数:132社

単位:千円

前年売上高	2023年4月	2023年5月	2023年6月	平均
	7,774,564	7,569,694	8,297,651	7,880,636
今年売上高	2024年4月	2024年5月	2024年6月	平均
	8,789,547	8,967,860	8,306,039	8,687,815
前年比	13.1%	18.5%	0.1%	10.2%

3. 処理量の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、3.8%増となった。

有効回答数:123社

単位:トン

前年処理量	2023年4月	2023年5月	2023年6月	平均
	404,191	372,659	391,325	389,392
今年処理量	2024年4月	2024年5月	2024年6月	平均
	365,126	368,271	480,920	404,772
前年比	▲ 9.7%	▲ 1.2%	22.9%	3.9%

4. 経常利益率(経常利益の対売上高比率)

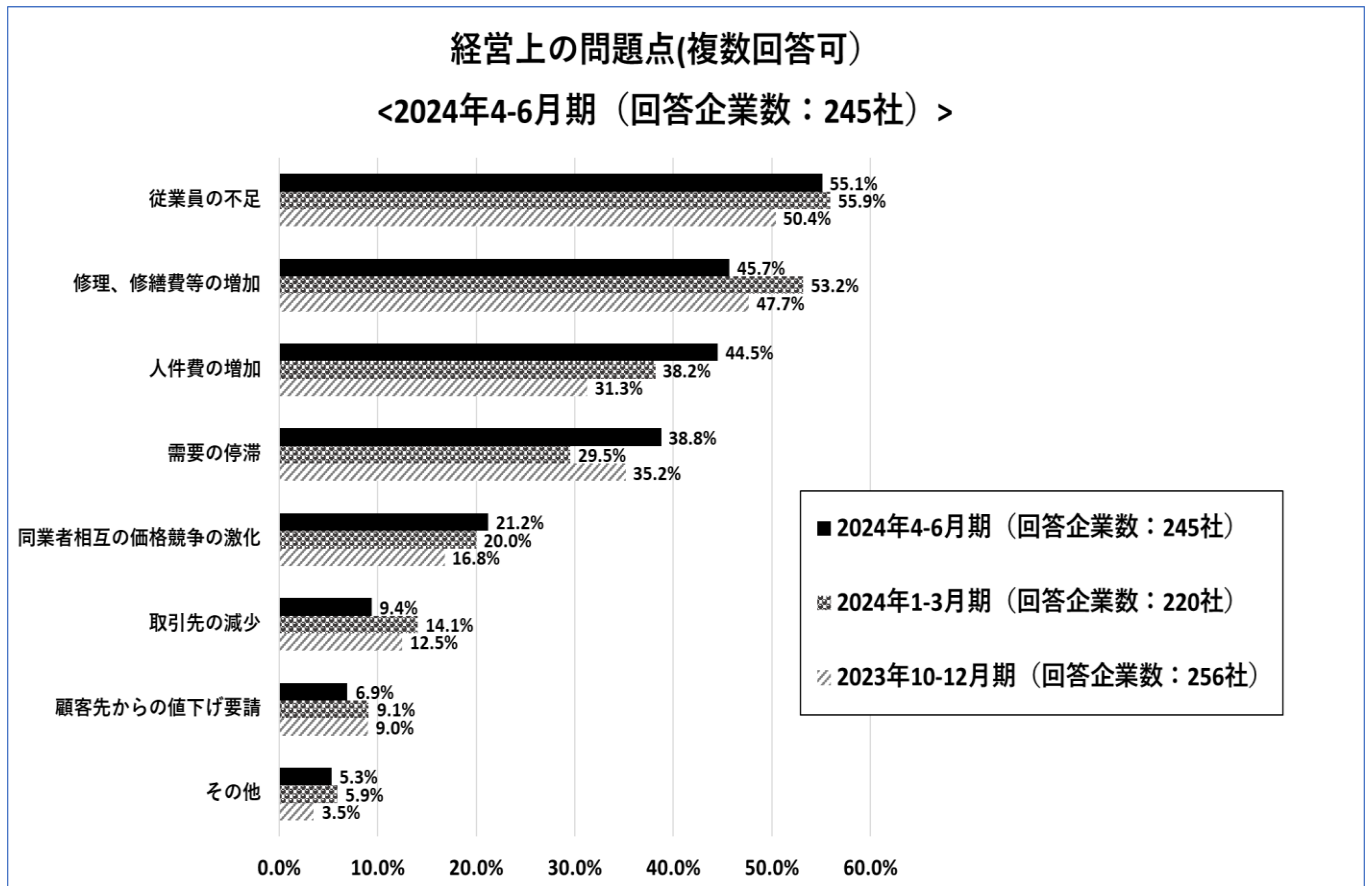
- 経常利益率の平均値は7.7%で前年同期比で、0.6%減となった。

有効回答数:113 社



5. 経営上の問題点(複数回答可)

- 経営上の問題点として、「従業員の不足」の回答割合が最も高かった。
- 「人件費の増加」の回答割合が前期から 9.3%増加した。



【その他記述回答の代表的な意見】

- ・ 光熱費、燃料費、材料費等の高騰
- ・ 運賃原価の増加による、すべての材料仕入れ単価の上昇
- ・ 最終処分場の受入制限及び処分費の値上げ
- ・ 排出業者への値上げ要請
- ・ 木くず入荷量の減少が著しい
- ・ 技術教育
- ・ 近隣の環境対策

〔調査実施要領〕

本調査は、産業廃棄物処理業の景気動向について把握するため、全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、集計したものである。

(1) 調査対象者

全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員

(2) 調査期間

2024年7月1日～7月31日

(3) 調査方法

Webによるアンケート

(4) 回答数・回答率

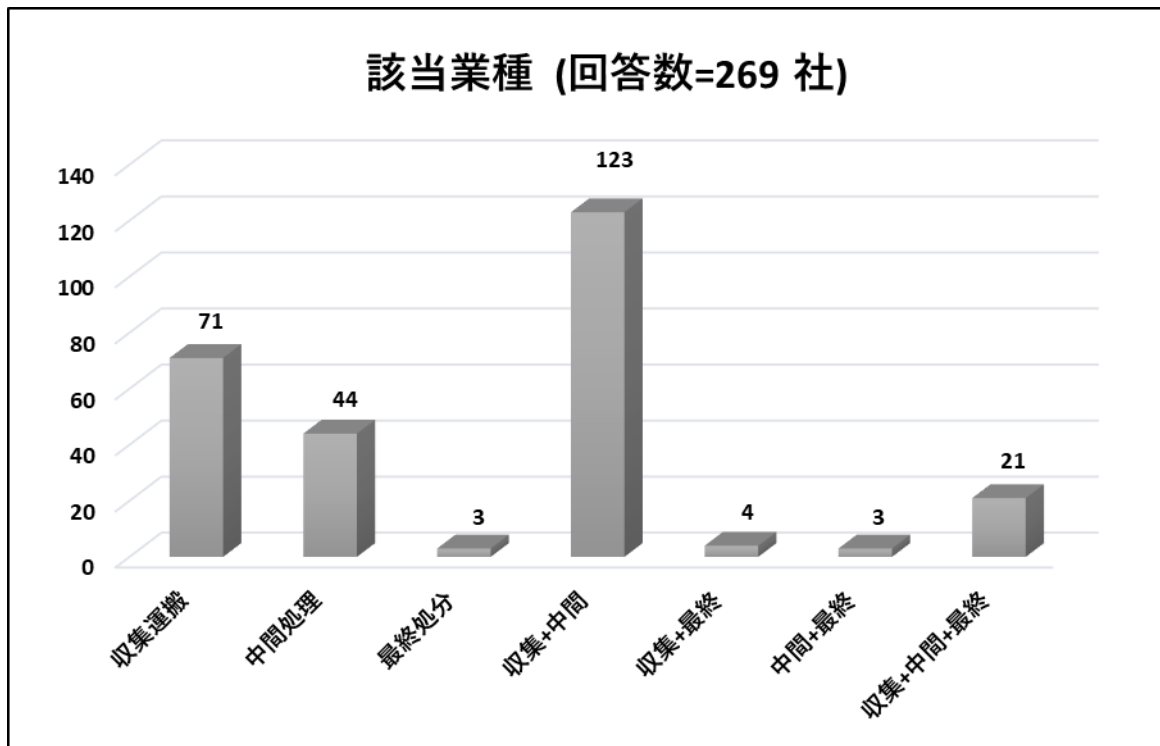
調査依頼企業数	1,251社
回答企業数	269社
回答率	21%

(5) サンプル構成

① 地域別構成

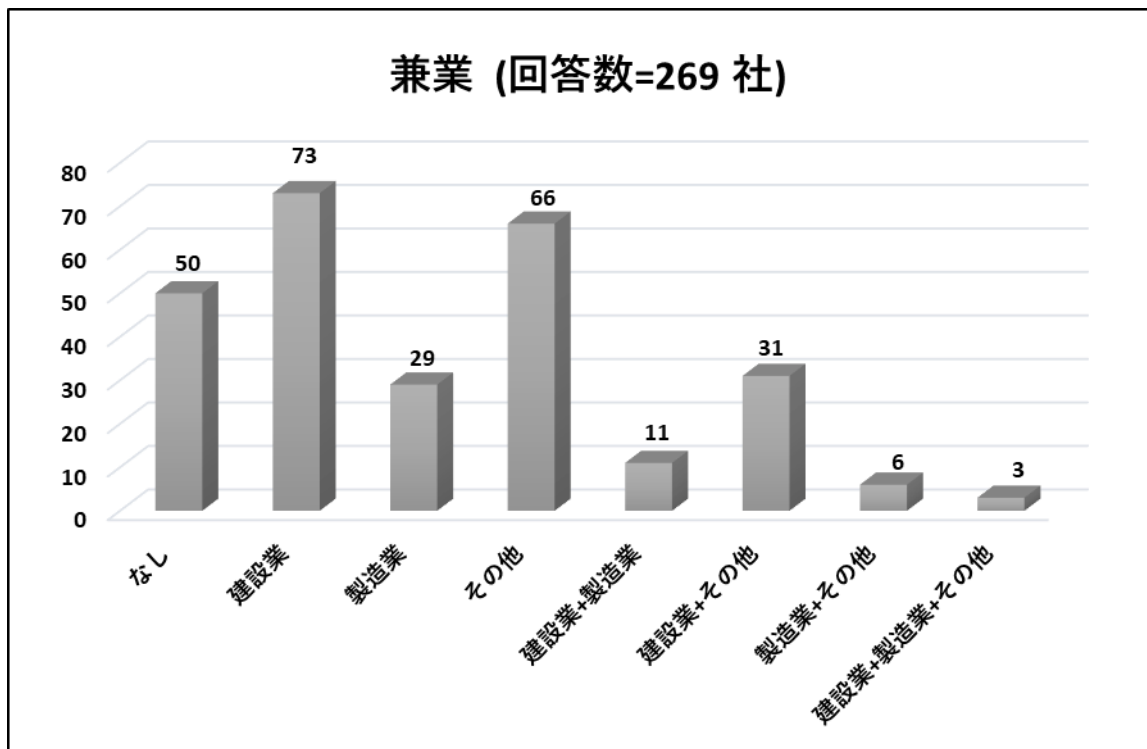
地域	企業数	構成比
北海道・東北	35	13.0%
関東	51	19.0%
信越・北陸	27	10.0%
中部	42	15.6%
近畿	25	9.3%
中国	20	7.4%
四国	30	11.2%
九州・沖縄	39	14.5%
合計	269	100.0%

② 業種別構成



該当業種	企業数	構成比
収集運搬	71	26.4%
中間処理	44	16.4%
最終処分	3	1.1%
収集+中間	123	45.7%
収集+最終	4	1.5%
中間+最終	3	1.1%
収集+中間+最終	21	7.8%
合計	269	100.0%

③ 兼業別構成



兼業	企業数	構成比
なし	50	18.6%
建設業	73	27.1%
製造業	29	10.8%
その他	66	24.5%
建設業+製造業	11	4.1%
建設業+その他	31	11.5%
製造業+その他	6	2.2%
建設業+製造業+その他	3	1.1%
合計	269	100.0%